

	市町名	宇和島市
	公民館名	天神公民館
		地区館
	連絡先(Tel)	0895-22-2940
ホームページアドレス		

事業分野	M 伝統・文化	事業名	丸穂牛鬼保存会郷土芸能継承事業
趣旨・目的	地域に古くから伝わる郷土芸能の保存・継承と人材の育成、まちづくりの推進。 公民館も継承事業の活動に寄与する。		
対象	丸穂地区伝統芸能継承者	参加人数	約60人

〈 設立の経緯 〉

愛媛県宇和島地方の伝統行事、“牛鬼”の由来は、加藤清正がこれを作って敵を威圧したのが最初とか、喜多郡、宇和郡の領主戸田勝隆の家臣、大洲太郎が猛獣の襲来を防いだのが起こりとか、起源にも諸説があります。

宇和島市内でも特に有名な丸穂村の牛鬼は、江戸時代末期頃から、お祭りで参勤交代の大名行列を模した奴踊りに「お槍ふり」をしていましたが、明治末期頃からは牛鬼が登場し、今日まで受け継がれています。

〈 過去の活動状況 〉

- ・うわじま牛鬼まつり
- ・宇和津神社秋季祭への参加
- ・他地域牛鬼保存会との交流事業
- ・松山秋まつりへの参加
- ・愛媛FCマッチシティ&タウン宇和島への参加
- ・ハワイの祭り(えひめ丸事故被害者の鎮魂と、友好交流目的)
- ・仙台青葉まつり(姉妹都市)
- ・愛知万博(愛・地球博)
- ・その他県・市町村の交流イベントへの参加



【和霊神社にて】

〈 特長的な事柄や特色 〉

丸穂牛鬼保存会は宇和島地区の文化を広く大勢の方に知っていただく為に、積極的に遠征等の活動を行っています。宇和島最大の牛鬼を保有しており、インパクトは大変大きいと自負しております。

〈 アピール事項 〉

“牛鬼”の保存・継承を行っている丸穂牛鬼は明治末期頃から織形態の変更を繰り返し、現在の独立した組織「丸穂牛鬼保存会」となったのが昭和39年です。宇和島の他地区保存会と比べても歴史は長く、国内での幅広い活動はもちろんですが、国際交流として、海外にも遠征の実績があります。



【祭りを盛り上げる牛鬼】

〈 今後の目標 〉

継続した活動による更なる町の発展と地域文化の振興に、公民館も積極的に寄与していきたいと思っております。